

(医)仁寿会

多治見市・医療

従業員数 / 男性82名 女性220名 計302名 ※令和7年10月現在

エクセレント
POINT

- ①事業所内保育施設「託児所ひまわり」の運営
- ②子育て・介護に優しい柔軟な勤務パターンへの導入
- ③時間外労働削減のため、お互いに助け合う社内風土構築



「託児所ひまわり」は、8時～20時まで利用可能。生後6カ月から預けられ、男性職員の利用も多い。

制度と風土の両輪で家庭支援

仁寿会では、多くの優秀な人材が結婚や出産を機に退職していたことから、2009年から事業所内に「託児所ひまわり」を設置。職員へのアンケートで利用時間などの希望を取り、安心して利用できる環境を整えてきた。結果、開設当初

は4人だった利用者も、現在は20人

以上に増加。託児所があることを理由に就職を決めた職員も増えている。5カ月の子を託児所に預けていた看護師の職員は「託児所が近いので、当時は勤務中に授乳へ行かなくてもらうなど、配慮してもらった」と話す。

また育休後に職場復帰する職員は、面談を通じて要望を聞き、勤務時間を調整。「子育てサポート制度」として、幼児期から小学校就学前まで利用できる様々な勤務パターンや、育児・介護に関する法的な制度などを分かりやすく資料にまとめ、職員への周知を図っている。2人の子を出産し、仕事に復帰した介護福祉士の名口絵美子さんは「正職員のまま復帰でき、出勤のみで働かせてもらっている。職場には以前から残業はしないという風土があり、定時で帰れるため子どもとの時間も確保できる」と



役員による職員面談を実施し、現場の声に即した労働環境の整備や労働時間の調整を行っている。

し、日々仕事と家庭が両立できているという。

仁寿会では、充実した制度と職員の間で培われた思いやりの風土により、育児や介護を理由とした退職者が減少。今後も職員の声を聞き、支援体制を整えていく構えだ。